（様式12）　（Ａ４判）

受検番号	コース・科(分野)・部
文化・スポーツ等特別推薦	

受検番号	コース・科(分野)・部
一般推薦	
一般選抜	

自己ＰＲカード

年　　月　　日

東京都立　　高等学校長　殿

品川区　立　　中　学　校

氏　名

1　志望理由について

（この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。）

(1)私が貴校を志望した理由は、貴校の教育目標に惹かれたからです。説明会に(2)参加した際校長先生が話されていた「グローバル・リーダーには自律的人格と幅広い教養の土台の両方が必要」という内容が、私の理想のリーダー像に合致し(4)入学したいという気持ちになりました。(5)また、表千家の茶道部がある、という事も魅力の1つです。私は自分の名前がきっかけで、幼い頃から茶道への興味があり(6)、中学校では裏千家の茶道部に所属していました。貴校の茶道部は中学校とは(7)違う表千家のため、他の茶道の流派を知り(8)、より深く日本文化に触れられる(9)と思います。私は将来、教育関係の仕事に就きたいと思っているので、自国の文化に詳しくなる、(10)というのは、必ず自分の糧になると信じています。

入学後は(11)、学習と行事の両方を(12)、周りと切磋琢磨し、将来に向けて大きく成長したいと思っています。見学時から憧れのチア会に所属し、周りを引っ張っていく存在になりたいです。(13)

2　中学校生活の中で得たことについて

（中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。）

私は漢字検定準2級を1年時に取得し、また苦手であった英語も2年時より努力し、3年時に英語検定準2級を取得しました。(14)

学校行事では、応援団長やパートリーダーの経験を通じて、「リーダーが1番下」という事を学びました。上に立つ者として、努力をし、責任を取るという事は大変でした。しかし、周りの人からの支えがあったからこそ、その辛さを乗り越えられたのだと思います。リーダーシップと周りからのフォロワーシップの両方があって、物事は進んでいくのだと実感しました。

また、学校外の活動では、空手道に力を入れてきました。東京都代表として3年間、関東大会や全国大会に出場しています。私の空手塾は貴校と同じく、人格の完成に重きを置いており、そこでの勉強会を通じて、論論や歴史について深く学ぶ事が出来ました。茶道と空手道の経験が、日本文化を後世に残したい、という私の志につながっているのだと思います。

3　高等学校卒業後の進路について

（将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。）

私の将来の志は、日本に誇りを持つ事の出来る教育環境を充実させる事です。(15)自分が学習をしてきた中で、今の教科書(16)には(17)あまり日本の良い所を載せていないように感じてきました。その現状を変えるには、教員や、文部科学省の官僚などの教育行政に携わる必要があると思っています。(18)そのため、高校卒業後は東京大学文科三類に進学(19)したいです。大学では、日本をはじめとする世界の文化に(20)深く触れるため、文学部に進む事を考えています。(21)更に大学での講習に加え、政治分野や世界情勢について学ぶため、日本政策研究センターの「こころざし育成塾」に参加したいです。以前(22)、日本政策研究センターの全国合宿に参加した事があるので、3年を通して日本の課題について考えていきたいと思っています。

(23)また、高校在学中から将来の志を意識するため、貴校の星陵セミナーを有効的に利用していく事が大切だと考えます。そのような機会を、必ず自分の将来につなげていきます。

（注意）　1　志願者が黒のボールペンで記入する。
なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。

2　推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己ＰＲカードを出願時に提出する。また、面談の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての措置又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。

都立高校 推薦入試 対策プレ講座　自己 PR カード添削メモ

受講番号：　　氏名：

１．総評

全体的な内容としては申し分ありません。修正すべき点は，次の２点です。

- 誤字を修正する。
- 文字数を意識しつつ表現を工夫する。

誤字の修正は１点だけです。

文字数の調整については，後述の通り，見た目の印象を向上させるために必要となります。

２．頂いたご質問について

①　量が多くて読みづらくないか。

おっしゃる通り，枠内のスペースに対して，文字数が多いため，「読み手の目に優しくない」という印象は否めません。内容面や字の丁寧さ・きれいさは全く申し分ありません。

したがって，内容は変えずに表現を工夫して文字数を削り，7～８行に収めることができれば万全です。

以上を前提として，添削を行いました。

②　志望大学は具体的に記入すべきか。

ご自分の中で進学先の大学がはっきりとしているのであれば，大学名（決まっているなら学部名も）は具体的に記入すべきです。ただ，その際に注意すべきことがあります。

それは，名前を出した以上，その大学や学部については，正確な情報に基づいた話をできるようにきちんと調べておく必要があるということです。

「よく知らないけど，とりあえず名前を挙げただけ」というのでは，かえって悪印象になります。

志望する理由まで視野に深めて話せるようにしておければベストですが，最低でも，文科三類からの進学振分け先の学部については知っておきましょう。

③　詳しく書いたので，どうやって面接で掘り下げるか。

掘り下げることについては，まずは「面接官からの質問に対して答える」というスタンスが第一です。

準備を入念にした受検者ほど，先取りして細かく話せるわけですが，ともすれば「問われていないことまで話してしまう」という失敗に陥りがちです。

ですから「掘り下げよう」と肩の力を入れ過ぎないでください。

今回の自己 PR カードの内容は，詳しく書かれているので，読み手の印象に残りやすくなっています。

それでも，面接官が掘り下げて尋ねたいと思う部分はあるので，後述する質問候補に沿って考えて見てください。

３．誤字について（ピンクのマーカー箇所）

「論論」とありますが「論語」の誤記ですよね？

４．文字数の調整・表現の工夫について（ブルーのマーカー箇所）

※ 原稿の番号と対応させながら確認してください。

以下は，伝えたい内容は変えずに，あるいは，より伝わりやすくなるような表現を用いつつ，文字数を削るための修正案です。
元の表現でも全く問題ありませんが，「文字数を削るためにはこういう方法があるんだなあ」というつもりでお読みください。
したがって，もちろん，以下のすべてを採用する必要はありません。どうしてもこだわりたい表現があれば，そちらを優先して頂いて構いません。

（１）
「私が貴校を志望した理由は,」
↓　マイナス９文字
「第１に,」

（２）
「に参加した際校長先生が話されていた」
↓　マイナス 13 文字
「で聴いた」

（３）
「内容が，私の理想のリーダー像」
↓　マイナス４文字
「リーダー像が私の理想」

（４）
「入学したいという気持ちになり」
↓　マイナス２文字
「貴校で学びたいと強く思い」

以上が第１段落について。２行には収まらないとは思いますが，３行目が少ない分，余白ができます。

以上が第２段落について。ここでおそらく１行分を減らせるので，合計９行で収まるはずです。
第１・第２段落を一つにまとめてしまう，という方法もありです。上記の調整で，両段落ともかなり削れているので，改行をなくすことでうまくすると合計２行を減らせるかもしれません。

（ 12 ）
「を，周りと切磋琢磨し，将来に向けて大きく成長したいと思っています。」
↓　マイナス 12 文字
「で周囲と切磋琢磨し，自分を高めるとともに,」

（ 13 ）
「また，自分の将来の志の実現のために星陵セミナーを積極的に活用するつもりです。」
を末尾に追加。

お気付きだと思いますが，元々は「高等学校卒業後の進路について」の末尾にあった内容です。
「入学してから自分が取り組みたいと思うこと」に該当するので，こちらに移動してはいかがでしょうか？
（ 12 ）までの修正で，かなりスペースに余裕ができているので，問題ないかと思います。
（多分２行は減らせているはずなので，ここで１行増えても，トータルで９行になるという計算です。）

（ 14 ）
「また苦手であった英語も２年時より努力し，３年時に英語検定準２級を取得しました。」
↓　マイナス 20 文字
「英語検定準２級を３年時に取得しました。」

単に事実だけに留まる形ですが，これで１行に減らせるので，２段落以降は字数調整が不要となります。
語順を入れ替えたのは「漢字検定準２級を１年時に」と形式を揃えるためです。

（ 15 ）
「持つ事の出来る」
↓　マイナス４文字
「抱ける」